

旧本庄商業銀行倉庫

― 保存再生生活用に関わる第一期報告書 ―

早稲田大学旧本庄商業銀行倉庫 保存・活用プロジェクト

平成三四年一月



OLD BRICK WAREHOUSE
OF
THE COMMERCIAL BANK OF HONJO

A Report of Preservation and use of cultural properties

by

The Waseda Univ.

Volume I



旧本庄商業銀行倉庫

— 保存再生活用に関わる第一期報告書 —



旧日本商業銀行倉庫外観

旧日本商業銀行煉瓦倉庫を旧中山道より眺める



現存する建設当初の建具

建設当初は、襦を保管する担保倉庫として建設された



内観

2011年に本庄市所有となるまで、30年余り洋菓子店の店舗として市民に愛された

はじめに

本庄市は、江戸時代に中山道最大の宿場町として賑わい、近代においては繭の集散地、製糸業の集積地として発展してきました。現在でも、かつての面影を残す町並みや建物が数多く残されています。

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、銀行が製糸業者への融資の担保として預かった繭を保管するために明治29年に建てられ、今日まで街角の風景に無くてはならない建物として、市民の皆様から親しまれてきました。一時は、取り壊しが危惧された時期もありましたが、平成23年8月に市が取得し、現在、保存活用へ向けた検討を進めているところであります。

このたびの研究は、早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科のプロジェクトチームの多大なるご尽力により実施され、歴史的・文化財的評価、現状構造評価、保存活用へ向けた企画設計など、多くの貴重な成果を得ることができました。

この研究報告書が、学術資料として幅広く活用され、また、市民の皆様の地域に対する理解と愛着を深めることにつながれば幸いに存じます。

最後になりましたが、このたび研究にご尽力、ご協力いただきました関係各位に対しまして、心より感謝申し上げます。

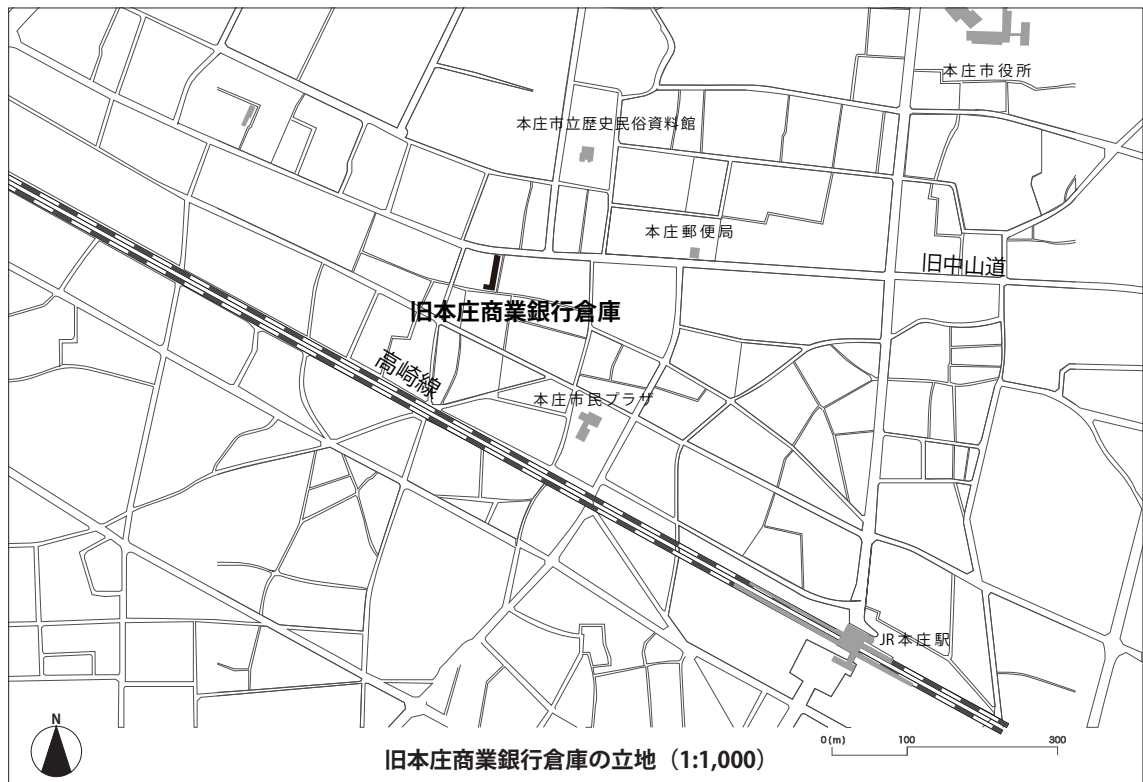
平成25年5月

本庄市長 吉田 信解

例言

1. 本報告書は、早稲田大学理工学術院総合研究所が埼玉県本庄市と契約を結んだ委託研究である「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫耐震改修基本検討委託研究」の2012年度報告書である。
2. 編集にあたっては、建造物の文化財的価値、耐震診断のほか、保存再生活用にむけた企画設計提案、実測図面等を収録した。
3. 実測図面は、本プロジェクトにおいて実測をしておし、資料編に全て収録した。
4. 写真は、調査において撮影したもののうち、主要なもののみ掲載した。
5. 本文および図面における寸法の表記は、メートル法および尺貫法を利用しているため、都度断り書きを併記してある。
6. 人名・文献等の旧漢字による表記は、特記無き限りは、できる限り原文のまま表記を行った。

早稲田大学旧本庄商業銀行倉庫 保存・活用プロジェクト



目次

第 1 章 本調査の位置づけ	1
第 1 節 調査に至るまでの経緯	
第 2 節 本調査の目的	
第 3 節 調査概要	
第 4 節 執筆組織	
第 2 章 建造物の概要	7
第 1 節 はじめに	
第 2 節 立地	
第 3 節 沿革	
第 4 節 構造形式	
第 5 節 建造物の現状	
第 3 章 歴史的調査ならびに文化財的評価	21
第 1 節 設計主体について	
第 2 節 旧本庄商業銀行について	
第 3 節 類似遺構調査	
第 4 節 煉瓦の製造元について	
第 5 節 設計方法の分析	
第 6 節 現状建物についての参考意見	
第 7 節 評価	
第 4 章 現状構造評価	51
第 1 節 概要	
第 2 節 煉瓦壁サンプルコアの目地せん断試験	
第 3 節 I_s 値算定による耐震診断	
第 4 節 振動計測による振動特性評価	
第 5 節 FEM モデルを用いた許容応力度計算による煉瓦壁の耐震性評価	
第 6 節 FEM モデルを用いた許容応力度計算による木造部材における安全性評価	
第 7 節 4 章のまとめと今後の方針	
第 5 章 企画設計	83
第 1 節 設計組織	
第 2 節 企画設計の目次構成	
第 3 節 用途転用を前提とした保存活用の構造的方針	
第 6 章 資料	89
第 7 章 参考文献	191